

工事説明書

ガスビルトインコンロ [設置フリータイプ]

型 式 名


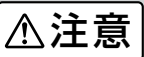
60cm幅タイプ

C3WC8RJTR C3WD8RJTR C3WK6RJTR
C3WC8RJTL C3WD8RJTL C3WK6RJTL
DW32C8JTR DW32D8JTR C3GD8RJR
DW32C8JTL DW32D8JTL C3GD8RJL

75cm幅タイプ

C3WC9RJTR C3WD9RJTR C3WK7RJTR
C3WC9RJTL C3WD9RJTL C3WK7RJTL
DW32C9JTR DW32D9JTR
DW32C9JTL DW32D9JTL

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止




必ず守る




分解禁止

設置される方へ (この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。)


- 周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼付の防火性能評定シールに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。
- 下記に応じて設置を行ってください。
(1) ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 ⇨ 6ページ
(2) ビルトイン形ガスオープンとセットで設置する場合 ⇨ 10ページ


 **必ず守る** 機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。

 **必ず守る** 建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。




警告

 **禁止** トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない。ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。また火災・損傷事故の原因になります。

 **禁止** 機器の上には絶対にのらない。ごとの変形やトッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。



注意

 **分解禁止** 設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。



お願い

- 乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを「点火の状態」で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。



禁止

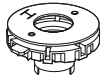




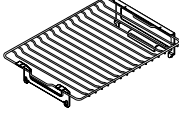
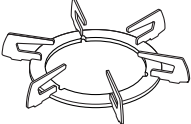

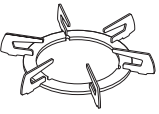
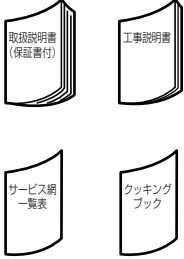
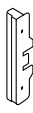
- この工事説明書の記載内容からはずれた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- 設置が終わったら、この工事説明書に基づいて設置されていることを確認してください。
- 設置終了後、保証書(取扱説明書に記載)に必要な事項を記入してください。
- 取扱説明書(保証書付)は設置終了後必ずお客様に渡してください。
- 取扱説明書に従って、お客様に機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



開こん

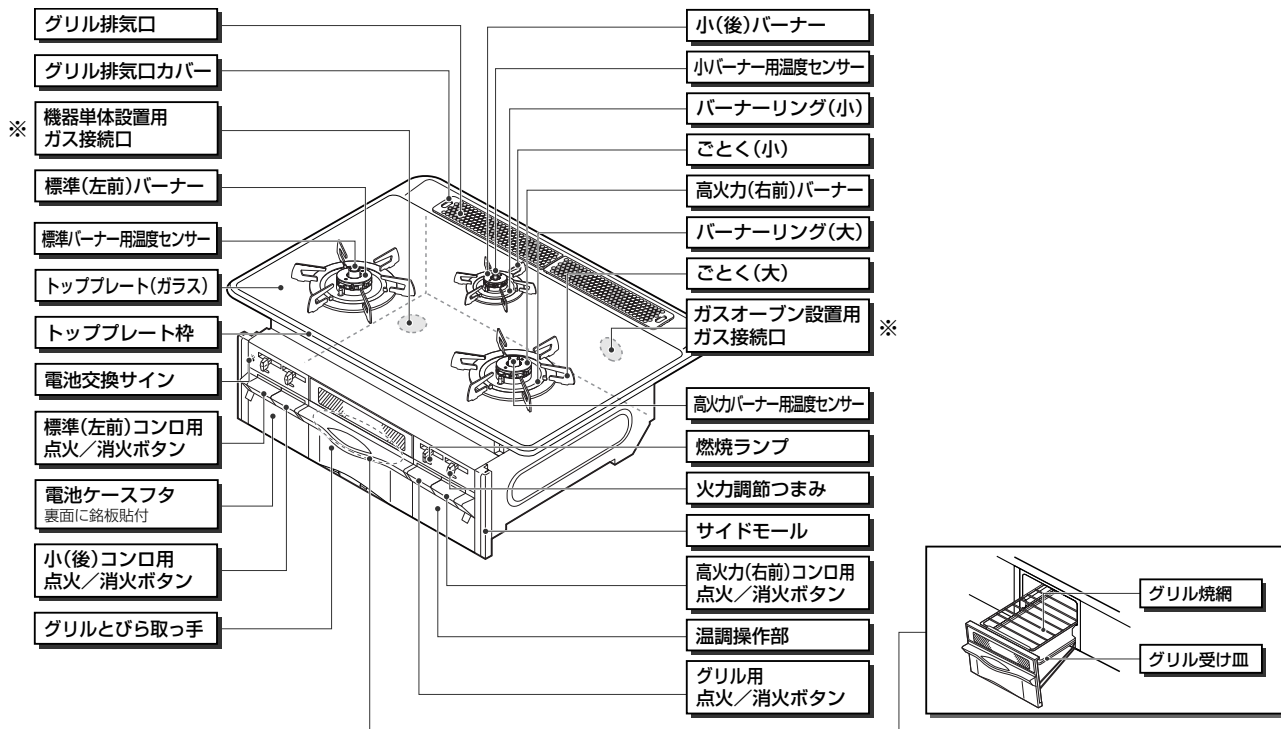
□同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

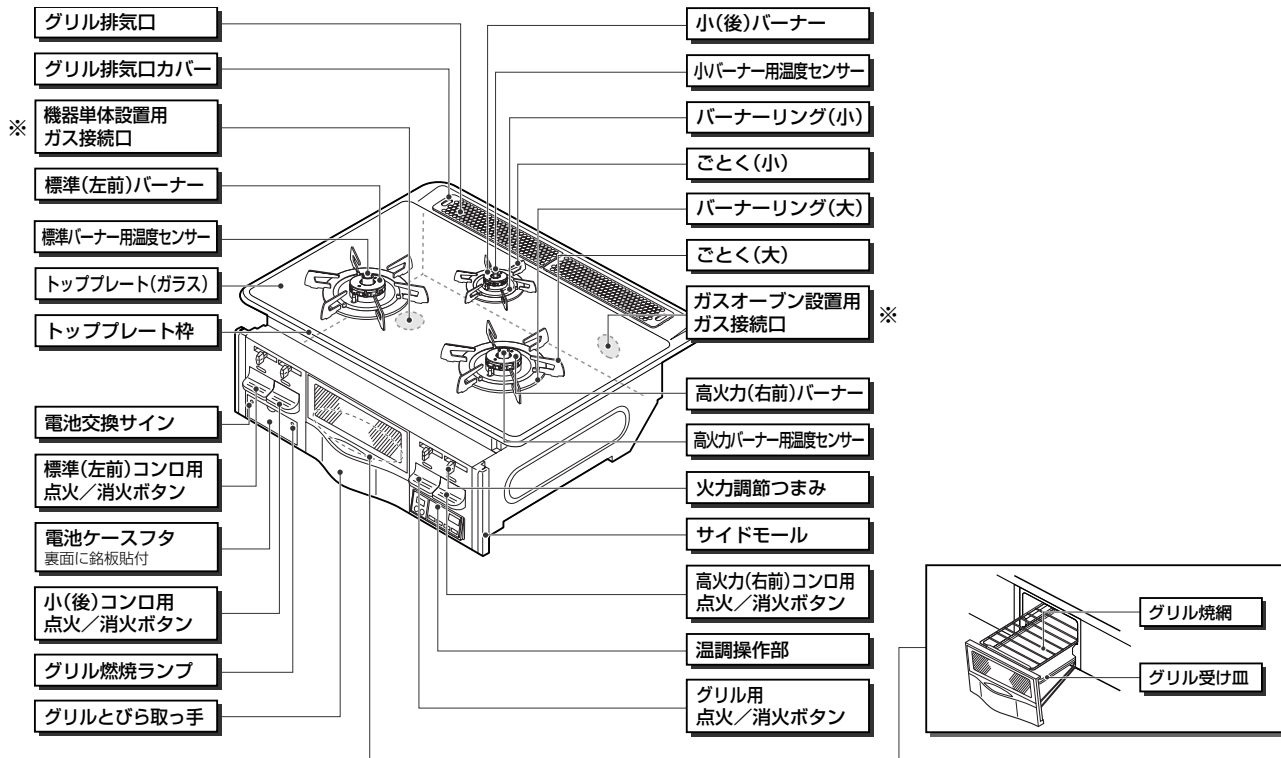
部 品 名	形 状	個 数	部 品 名	形 状	個 数
バーナーキャップ(大) <高火力バーナー用>		1	検圧口ネジ用 アルミパッキン	 (ビルトインコンロで検圧した 場合の取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が 異なりますので注意してくだ さい。)	1
バーナーキャップ(大) <標準バーナー用>		1	アルカリ乾電池(単1形)		2
バーナーキャップ(小) <小バーナー用>		1	グリル焼網		1
ごとく(大) <高火力・標準バーナー用>		2	グリル排気口カバー		2
ごとく(小) <小バーナー用>		1	取扱説明書(保証書付) 工事説明書 サービス網一覧表 クッキングブック (両面焼タイプのみ)		各1
サイドモール		2			

各部のなまえ

C3WC9RJTRタイプ



C3WD8RJTタイプ



● その他のタイプについては、トッププレートの幅や、高火力バーナー・標準バーナーの位置などが異なりますので、詳しくは取扱説明書の「各部のなまえ」を参照してください。

● 操作部やパネルなどに、保護シートが貼ってある場合がありますので、取りはずしてください。

※ ガス接続口の位置を示す。(透視図)

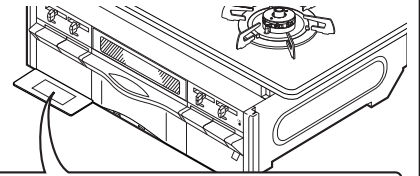
設置前の注意

□設置する機器の確認

◎設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

- !** 必ず守る 銘板（電池ケースフタ裏面に貼付）に表示してあるガスに適合していることを確認する。
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。
- !** 必ず守る ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
爆発や不完全燃焼の原因になります。
- !** 必ず守る この機器は調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



(例)都市ガス用13Aの場合		銘板
部分を確認してください。	(型式名) 都市ガス用 13A 000kW	JIA認証
製造年月・製造Noを表示しています。	製造年月 H N	
品名コード	C3W00000 株式会社 ハーマン	PS T6

□設置場所の確認

◎設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠注意

- !** 必ず守る 設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。
他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- !** 必ず守る 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。
- !** 必ず守る 水平で丈夫な場所に設置する。
- !** 必ず守る 保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。
設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。
- ⊘** 禁止 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。
- !** 必ず守る ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。
- !** 必ず守る 棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。
- ⊘** 禁止 この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。
- !** 必ず守る コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。
・右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のようにベニヤ板など（仕切板）により機器の後方をふさいでください。
コンロの炎がゆらいだり、消えたり異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

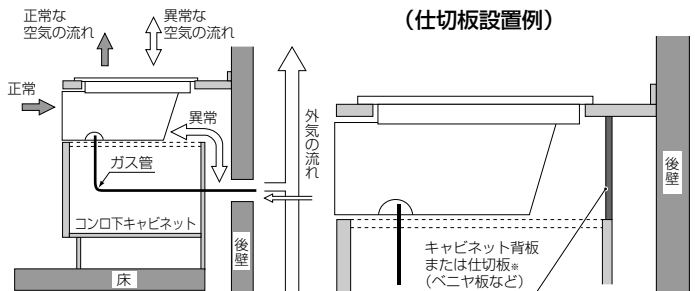


図1

図2

※別売の仕切板セット（DP0723、DP0724）を用意しています。仕切板セットのお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社（サービス網一覧表）に連絡してください。

- 上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
 - ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。

機器の設置

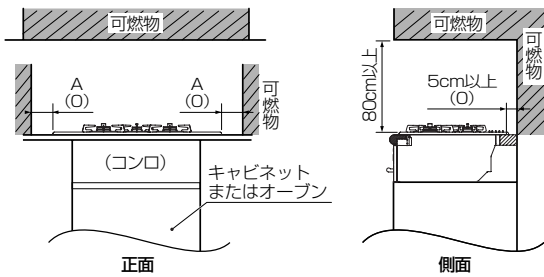
■防火上の離隔距離

◎機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することが出来る場所に設置してください。

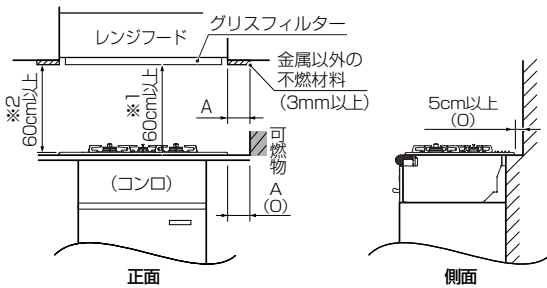
◎この機器は防火性能評定品です。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、下表に基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



⚠注意

❗ 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
必ず守る 火災のおそれがあります。

60cm幅タイプ

ガス機器防火性能評定品 可燃物からの離隔距離 (cm)				
上方	側方	前方	後方	
80以上	15以上	15以上	5以上	
上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合 グリズフィルター				
15以上	60以上	60以上	5以上	金属以外の不燃材 (3mm以上)

75cm幅タイプ

ガス機器防火性能評定品 可燃物からの離隔距離 (cm)				
上方	側方	前方	後方	
80以上	7.5以上	15以上	5以上	
上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合 グリズフィルター				
7.5以上	60以上	60以上	5以上	金属以外の不燃材 (3mm以上)

防火性能評定シール
(トッププレートに貼付)

※ () 内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

A寸法

60cm幅タイプ：15cm以上
75cm幅タイプ：7.5cm以上

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材がない場合は80cm以上。

◎上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。(下記参照)

⚠注意

❗ 防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する。
必ず守る 防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災のおそれがあります。

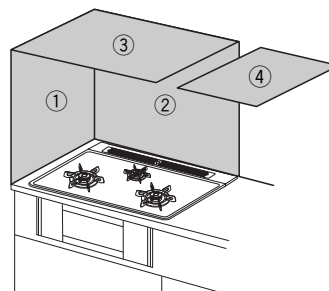
●防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cmタイプ幅は5種類用意しています。

●用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。

※取り付け方法は別売の防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号	高さ(mm)	幅(mm)	備考
①	350	600	60cm幅タイプ用
		750	75cm幅タイプ用
②	350	535	共用
③	550	900	共用
④	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	90	600	60cm幅タイプ用
		750	75cm幅タイプ用

※DPO101、DPO104はワークトップ後部の立ち上がり用



⑤バックガード

(ワークトップの
後部に立ち上がり
りがある場合)

※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に連絡してください。

■ワークトップおよびキャビネットについて

○ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K6903) または同等以上の材料としてください。

- ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

○機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。

- 穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

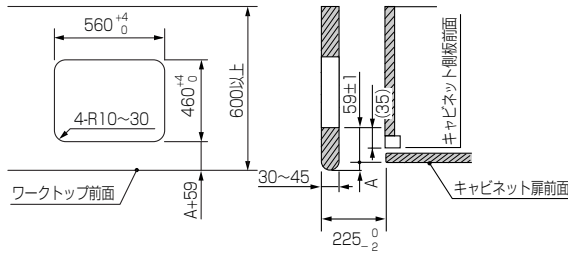
⚠ 注意



45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。

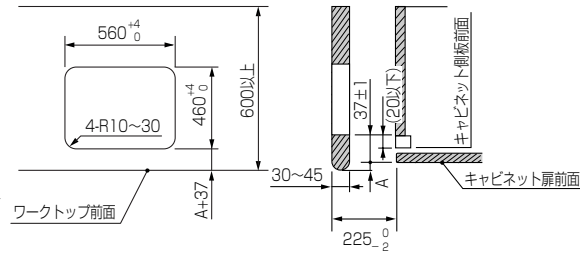
必ず守る

標準 (A+59) 穴あけ寸法



A+37穴あけ寸法

〈単位：mm〉

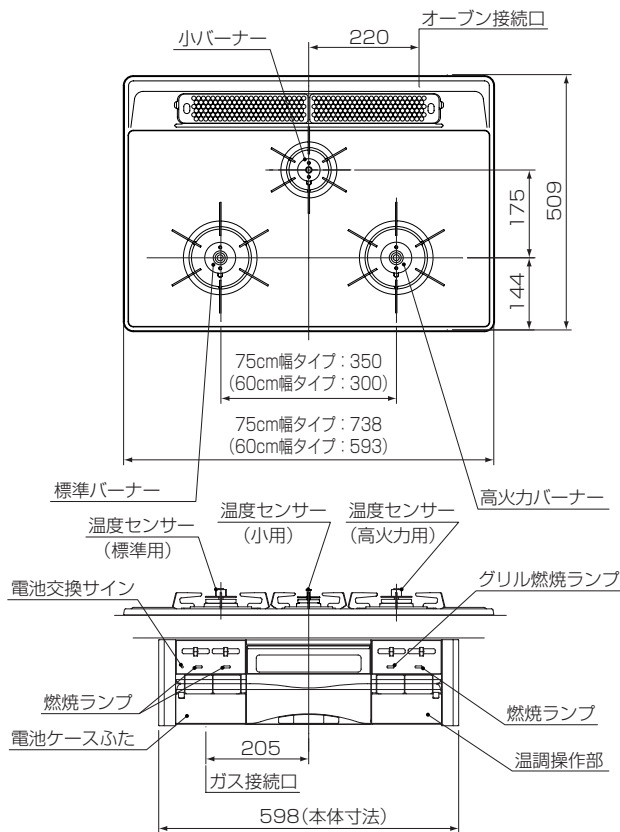


穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45) A+37のどちらでも設置できます。

■機器の取り付け

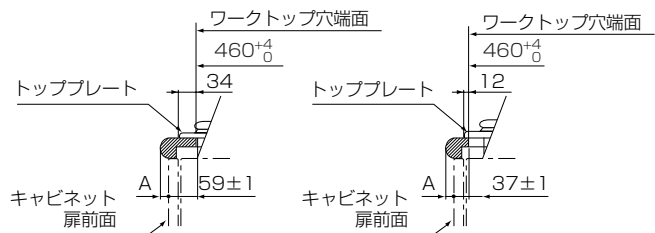
○ビルトインコンロ単体で設置する場合

〔標準設置図・機器寸法図〕



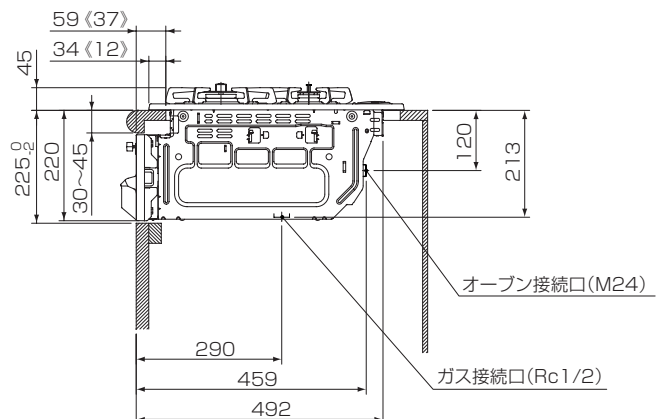
※図はC3WC9RJTRタイプです。
※その他のタイプについても、トッププレートの幅、バーナー、点火/消火ボタンの位置は異なりますが、設置寸法は同じです。
※〈 〉内の寸法はA+37設置寸法です。

〈単位：mm〉

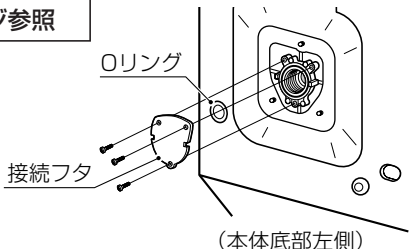
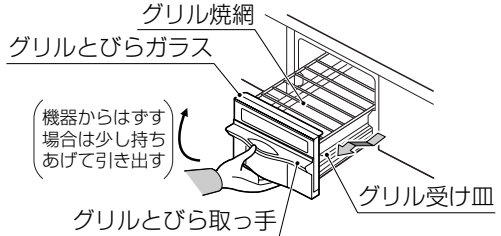
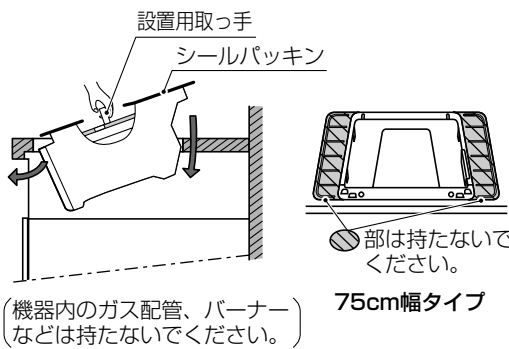
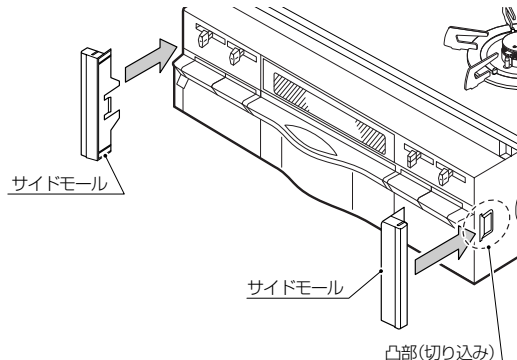
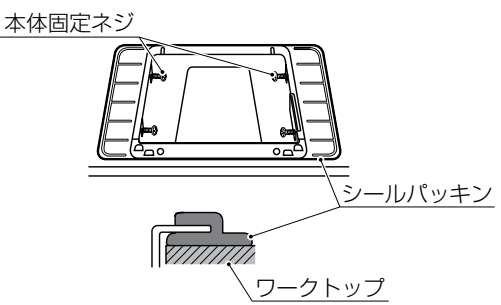


A+59設置状態

A+37設置状態



[機器本体の取り付け]

作業手順	説明図
<p>1. 機器側ガス接続口の接続フタの取りはずし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるガス接続口フタ（ネジ3本）とOリングを取りはずしてください。 <p>取りはずした部品は不要です。</p>	<p>ガス接続口位置は3ページ参照</p>  <p>Oリング 接続フタ (本体底部左側)</p>
<p>2. グリルとびらの取りはずし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グリルとびらの取っ手を持ち、少し持ち上げながら引き出し、取りはずしてください。グリル受け皿は、グリルとびらに組付けしているので一緒に動きます。 ・ グリル受け皿、グリル焼網などがはずれた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。 	 <p>グリル焼網 グリルとびらガラス グリルとびら取っ手 グリル受け皿</p> <p>(機器からはずす場合は少し持ち上げて引き出す)</p>
<p>3. 機器本体のはめ込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・ 上部左右の枠を持たないでください。(75cm幅タイプ) ・ ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・ はめ込み時はパネルなどを傷つけないようにしてください。 ・ 機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>❗ 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す。 必ず守る <u>トッププレートのガラスが割れるおそれがあります。</u></p> </div>	 <p>設置用取っ手 シールパッキン</p> <p>(機器内のガス配管、バーナーなどは持たないでください。)</p> <p>75cm幅タイプ 部は持たないでください。</p>
<p>4. サイドモールの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サイドモールをパネル両サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 	 <p>サイドモール サイドモール 凸部(切り込み)</p>
<p>5. 機器本体の固定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ・ 機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・ 機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。 	 <p>本体固定ネジ シールパッキン ワークトップ</p>

[部品の取り付け]

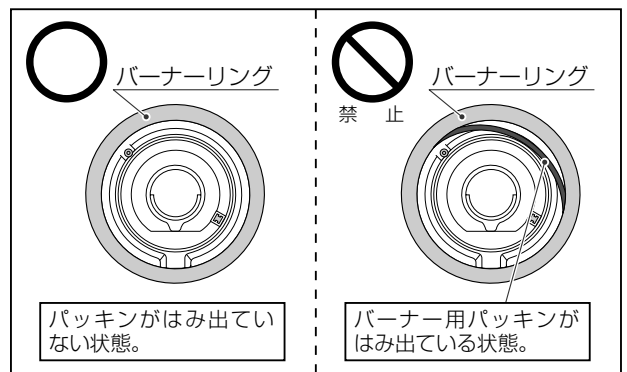
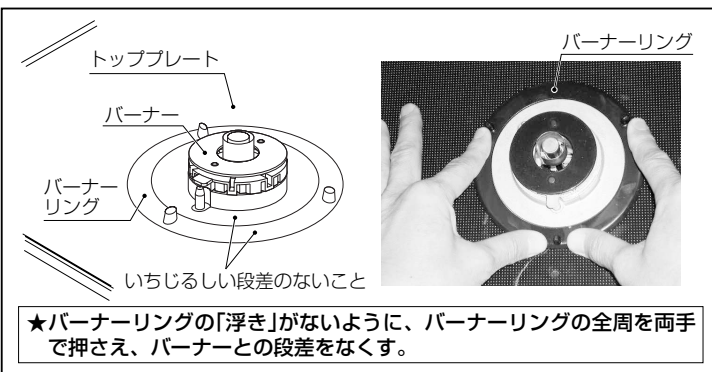
作業手順	説明図
<p>1. グリルとびらの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリルとびらの取っ手を持ち、取りはずしたときと逆の要領で取り付けてください。 	
<p>2. トッププレートの取り付け</p> <ol style="list-style-type: none"> ①機器本体後部に止めてあるトッププレート固定用ネジ(2本)をはずしてください。 (このネジは③で使用します。) ②トッププレートの後部を浮かしながら機器本体にかぶせて、トッププレート裏面突起部に機器本体前部ツメをはめ込み、バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートをセットしてください。 ③①でははずしたトッププレート固定用ネジでトッププレートを機器本体後部で固定してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ネジをゆるめたり、締めつける際には手動ドライバーを使用してください。 電動ドライバーではネジが利かなくなります。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>お願い</p> <p>トッププレートの取り付けは確実にいき、浮きがないことを確認してください。</p> </div>	<p style="text-align: center;">※イラストはイメージです。</p>

トッププレート取り付け後、必ず確認してください

⚠ 注意

必ず守る ⚠ トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。
「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

必ず守る ⚠ トッププレート取り付け後、バーナー用パッキンがはみ出していないことを必ず確認する。
はみ出ていると、バーナーの炎によりバーナー用パッキンに異常をおこすおそれがあります。



3. ごとく・グリル排気口カバーの取り付け

- バーナーキャップ取り付け後(下記参照)、ごとく・グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

バーナーキャップの取り付けかた

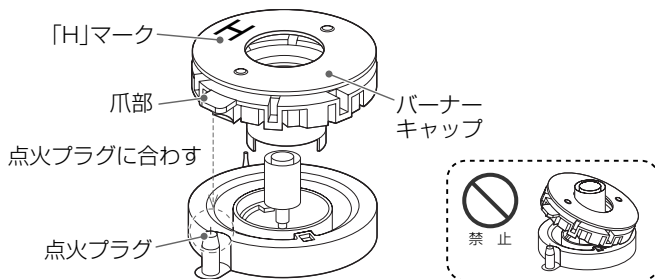
- 図のようにバーナーキャップの爪部が点火プラグの真上にくるように合わせて、バーナーキャップをセットしてください。
バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないかを確認してください。

⚠ 注意

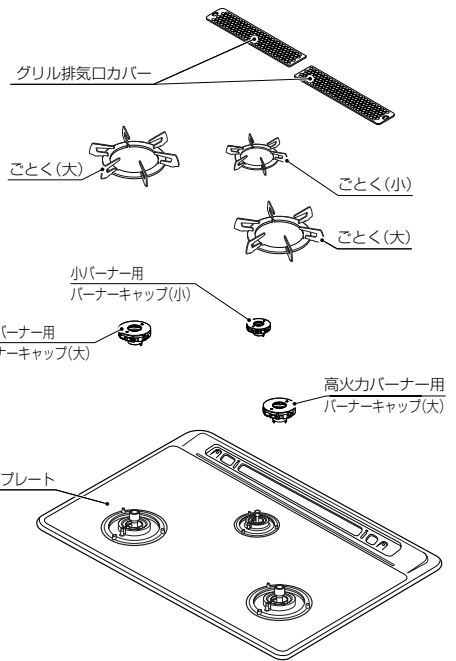


必ず守る

バーナーキャップを正しく取り付ける。
バーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。



※高火力バーナー用バーナーキャップには「H」マークがあります。



イラストは、C3WC9RJTRタイプです。

4. 乾電池の取り付け

アルカリ乾電池(単1形：1.5V)を2個使用します。

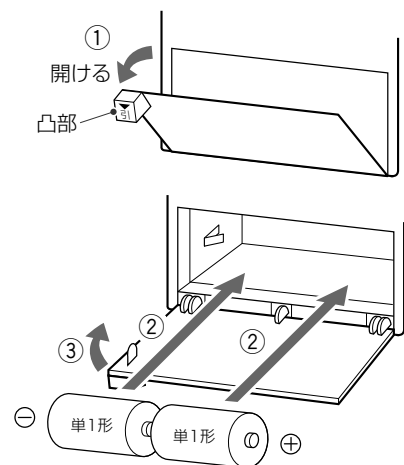
- 乾電池の寿命は、およそ1年が目安です。
(付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため、寿命が短くなっている場合があります。)

乾電池の取り付け手順

- ①電池ケースフタ上部の凸部を指でひっかけて矢印の方向に開ける。
 - ②アルカリ乾電池2個を、図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込んでください。
 - ③電池ケースフタを元に戻してください。
- ※乾電池を取りはずすときは、上記要領でアルカリ乾電池2個を取りはずしてください。

お願い

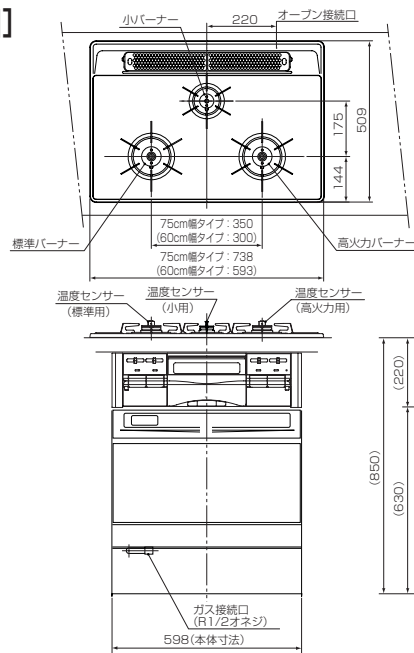
- 乾電池の⊕⊖方向は間違えないでください。点火できなくなります。
- 電池ケースに水などの異物が入った場合、ふき取ってください。電池機能不良の原因となります。
- 電池ケースフタは水平まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。フタが破損する原因となります。



◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合

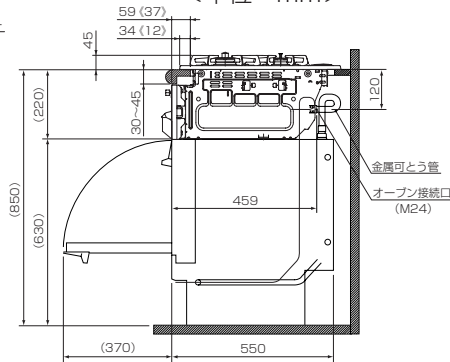
- オープンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A+37仕様(Vタイプ)になります。オープン側の仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオープン側の「工事説明書」を参照してください。

【標準設置図・機器寸法図】



- ※図はC3WC9RJTRタイプです。(コンロ部)
- ※その他のタイプについても、トッププレートの幅、バーナー、点火/消火ボタンの位置は異なりますが、設置寸法は同じです。
- ※《 》寸法はA+37設置時(コンロ部の設置位置)の寸法です。
- ※オープン設置寸法は、オープン側の「工事説明書」を参照してください。

<単位: mm>



【取り付け前の準備】

作業手順	説明図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	
2. 煮こぼれカバー後の取りはずし <ul style="list-style-type: none"> ● 煮こぼれカバー後(ネジ1本)を取りはずしてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取りはずした煮こぼれカバー後・ネジはガス接続後、再度使用します。</div> ※煮こぼれカバー後は、高火力バーナー側に取り付けてあります。	
3. グリル排気筒の取りはずし <ul style="list-style-type: none"> ● グリル排気筒(ネジ2本)を取りはずしてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取りはずしたグリル排気筒・ネジはガス接続後、再度使用します。</div> ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
4. 仕切板の取りはずし <ul style="list-style-type: none"> ● 仕切板(ネジ3本)を取りはずしてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取りはずした仕切板・ネジはガス接続後、再度使用します。</div> ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
5. 閉塞栓の取りはずし <ul style="list-style-type: none"> ● 閉塞栓押え板(ネジ1本)を取りはずしてください。 ● 閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取りはずした閉塞栓、閉塞栓押え板、取付ネジは不要です。</div> ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
6. ビルトイン型ガスオーブンの作業	<ul style="list-style-type: none"> ● この作業はビルトイン型ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照して行ってください。

[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンの組み合わせ作業]

作業手順	説明図
<p>1. グリルとびらの取りはずし</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリルとびらの取っ手を持ち、少し持ち上げながら引き出し、取りはずしてください。グリル受け皿は、グリルとびらに組付けているので一緒に動きます。 ・グリル受け皿、グリル焼網などがはずれた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。 	
<p>2. コンロ機器本体のはめ込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左右の枠を持たないでください。(75cm幅タイプ) ※ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ※はめ込み時はパネルなどを傷つけないようにしてください。 ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>コンロをはめ込む前に、オープン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意</p> <p>機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す。必ず守る トッププレートのガラスが割れる危険があります。</p> </div>	
<p>3. サイドモールの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドモールをパネル両サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 	
<p>4. コンロ機器本体の固定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ・機器前面とオープン前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。 	
<p>5. オープンとコンロのガス接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。 	<p>接続の方法は、13ページ(ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンとの接続方法)を参照してください。</p>

作業手順	説明図
<p>6. オープン排気筒(オープン側の付属部品)の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オープン排気筒上部のツバ部(穴)をコンロ側突起部に差し込みながら、オープン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>7. グリル排気筒の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元通りにグリル排気筒(ネジ2本)を取り付けてください。 <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>8. 仕切板(右側部)の取り付け</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 仕切板の切断ラインに沿ってニッパーで切り取ってください。 ② 仕切板(右側部)の上部角穴を機器本体のツメに差し込んで(ネジ1本)取り付けてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>切り取った仕切板(左側部)は不要です。</p> </div>	
<p>9. 煮こぼれカバー後の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元通り(高火力バーナー側)に、煮こぼれカバー後(ネジ1本)を取り付けてください。 	

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
<p>1. グリルとびら・トッププレート・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・乾電池の取り付け</p>	<p>取り付け方法は、8~9ページ([部品の取り付け])の項を参照してください。</p>

ガス接続・ガス配管工事

□ガス接続

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオープンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意



コンロ接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。

※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オープン側に予備用としてOリングが入っていますので使用してください。

※コンロ部の取替時は、Oリングを新しいものに取り替えてください。



Oリングは複数個入れない。



コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない。

※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。



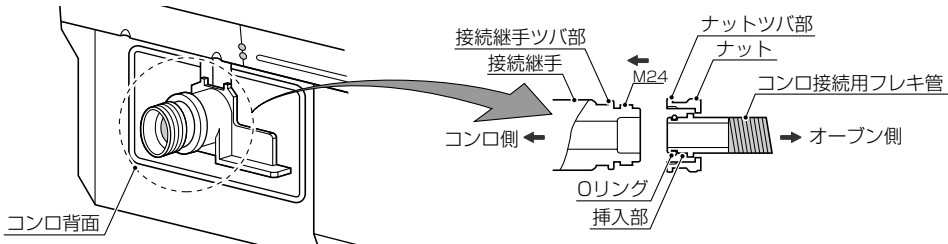
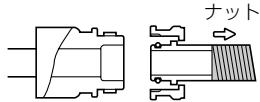
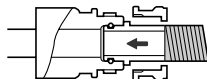
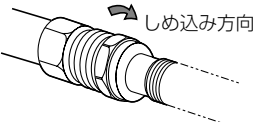
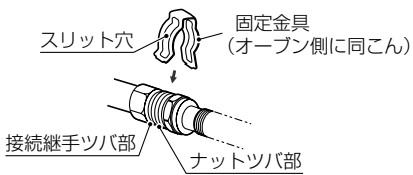
固定金具のスリット穴の中に接続継手とコンロ接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。



コンロ接続用フレキ管のナットは一定量圧縮するとそれ以上まわらなくなりますので、無理にまわさないでください。



コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。
ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
<p>■接続部の構造</p> 	
<p>1. オープン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管のナット部を⇒方向へ移動させてください。</p>	
<p>2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。</p>	
<p>3. 手じめでコンロ接続用フレキ管のナットを回し、ナットのツバ部と接続継手のツバ部が合うまで締め込んでください。</p>	
<p>4. ナットとアダプターの両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットツバ部が入っていることを確認してください。</p>	

■ガス配管工事

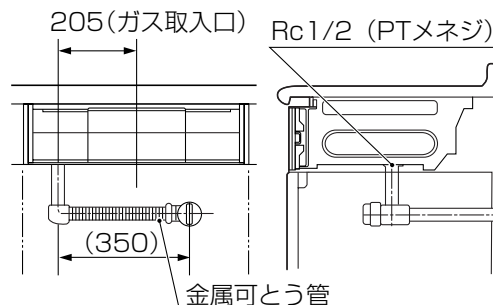
- 機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換をしてください。

◎ガス接続方法

[ビルトインコンロ単体で設置する場合]

- ガス接続は金属管または金属可とう管を使用してください。
- ガス接続はRc1/2 (PTメネジ) です。

標準配管接続例



[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合]

- ガス接続口、配管工事は、オープン側の「工事説明書」を参照してください。
すでにオープンが設置されている場合は、13ページのガス接続に従ってガス接続してください。

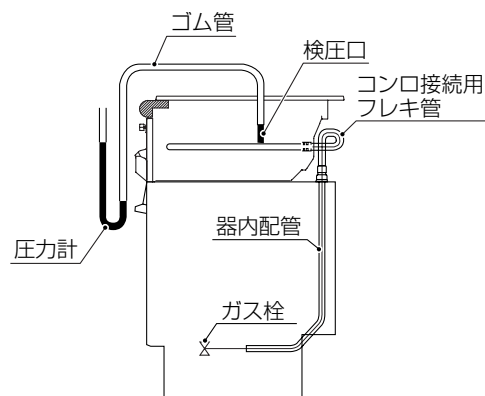
◎接続・工事後のガス漏れ確認

[機器のガス接続が完了している場合]

- 検圧口(コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オープンまたはコンロの検圧口)に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えた後、機器のガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[機器のガス接続ができていない場合]

- 検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



[ガス漏れ確認終了後]

- 検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。

◎試運転

- 取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
- 試運転終了後また、長期間使用しないときは機器のガス栓を閉じ乾電池を抜いておいてください。

メ 毛
